

展開例

- 主題**…先生の願いや意図が明確になるよう 1 文で表します
- 導入**…導入の後、どこかで、導入に関わる問いや話を入れます。そうすることで授業に一貫性が出ます
- 展開前段**=立場発問…ある人の立場を取得して共感する学び
- つなぎ発問①**…教材の学びから、児童生徒の実感に即した見方や考え方に広げ、展開後段の問いを多角的な視野から考えることができるようにする
- 展開後段**=主題発問…道徳的価値について考えを深める学び
道徳的価値の「捉え」「よさ」「大切さ」「態度」「意欲」を考えさせる
- つなぎ発問②**…展開後段で出された道徳的価値への考えを具体化したり、生活とのつながりを実感できたりする問いや話を入れ、終末の振り返りの手がかりにする
- 終末**=主体発問…自己の生き方について考える学び
学習から学んだことを鏡として、これまでの自分を見つめて、自分のよさを見つけたり、よりよい自分の姿を想像したりする観点をもって振り返る

振り返り…ウェルビーイングの視点を取り入れた観点を示して振り返らせる

※振り返りの 4 観点は、次のようになっていますが、ABCD によって書く観点の数が異なります。

- ・これまでできていること、満足していること（よさ・自己肯定感）
- ・もっとやってみたいこと、もっとできそうなこと（ポジティブ・目的意識）
- ・誰かといっしょにやりたいこと、誰かといっしょならもっとできそうなこと（他者との協働）
- ・これから、なりたい自分（自己実現への期待）

※これに合わせて、低中高学年別、また ABCD 別にした「振り返りシート」も作成していますのでお問い合わせください。

※すべての観点について書かせるか、先生がいくつか指示をして書かせるか、または、子どもが選んだものを書かせるか、お決めください。

先生の、児童生徒に一番考えさせたい願いや意図（主題）に基づいて、よいように授業をおつくりください

主 題	広い心をもとう	互いに理解し合おう	相手の立場に立って 接しよう
導 入	今日の学習は、第 26 回「ブランコ乗りとピエロ」です。「22 のとびら」の 11 番「広い心で理解し合おう」です。「道徳みちあんない」では、○△？のどれを付けていますか		
展 開 前 段	○サム演技を見ながら、ピエロは、どんなことを思っていたでしょう ○演技を終えて、ぐったりとしているサムを見て、ピエロは、どんなことを思ったでしょう ○朝日が昇るまで、話し合っていた二人は、どんな気持ちだったのでしょうか		
つ な ぎ 発 問 ①	○サムに向かって話すピエロのよいところは、どんなところでしょう ○ピエロの話を聞きながら、サムは、どんなことを思っていたでしょう ○人は誰しも、「自分だけがスターだ」「自分の思い通りにしたい」「自分は間違っていない」と思って相手の言うことを聞かなかったり、相手を責めたりします。それらの思いを見直すことができるのは、どんな思いや考えなのでしょう		
展 開	広い心とは、どのような心なのでしょう	互いに理解し合うとは、どうい うことなのでしょう	どんな思いや考えをもつと、相 手のことを理解することができ

後 段			るのでしょうか
つ な ぎ 発 問 ②	みんな、誰しも失敗をしたり、間違いをしてしまったりしますよね。相手の失敗や間違いに気づいたとき、ああ、自分にも身に覚えがあるなあと思いたいですね ・今日の学習から、分かったこと、心に残しておきたいことはどんなことですか① ・①のことで、もうすでに、やっているよということはどんなことですか ・①のことをもとに、これから、やっていきたいことはどんなことですか ②では、振り返りを書きましょう		
振り返り			

※「○△？」は、第1回「道徳が始まるよ」で「道徳みちあんない」に書き込んだものです